

国立音楽大学同調会 2019年度 代議員会 会議録

日 時：2019年8月1日（木）午後2時30分より4時05分まで

会 場：国立音楽大学6号館101室（大講義室）

出席者：43名（議決権者の総数：50名、この内欠席7名、委任状提出6名）

配付物：議事次第、出席者名簿、2018年度活動報告、会計報告、監査報告書、2019年度活動計画（案）、「同調会コミュニケーション・ラウンジ」出展募集要項・出展申込書、同調会 Web サイトについて、予算書（案）、同調会規約改正案（新旧対照表）、2020年度代議員会の開催について / 参考資料：ホームカミングデイ2019チラシ / 大学関係資料：OPEN!2019、秋のオープンキャンパスチラシ、授業公開チラシ

冒頭、司会の杉江知都子総合企画部部長・代議員より、開会に先立ち第2回くにたち賞表彰式を開催する旨が案内された。山下洋輔会長より大賞を受賞した宮田まゆみ氏に賞状と副賞の目録が贈呈され、宮田氏より受賞のスピーチと笙の演奏をしていただいた。

表彰式終了後、代議員会の配付資料が確認され、次に本日の会が成立要件を満たしていることが伝えられた。その後、議事次第に沿って進行した。

はじめに、山下洋輔会長の挨拶、続いて山田晴彦理事長、武田忠善学長・同調会顧問のご挨拶をいただいた。

規約第8条第4項により指名された議長：大島恵司氏（幹事・岩手県同調会代議員）、副議長：鈴木恵子氏（幹事・群馬県同調会代議員）による進行のもと、配付資料に沿って以下の内容が審議・報告された。

【審議事項】

1. 同調会顧問の選出について <山下洋輔 会長>

同調会規約第13条にもとづき、2019年4月より学校法人国立音楽大学の理事長に就任された山田理事長が顧問に推薦された。

質問・意見等はなく、山田理事長の顧問就任について拍手で選任された。

2. 2018年度 活動報告 <小川哲生 幹事代表>

活動報告の内容は配付資料および以下のとおり。

- ① 会議報告：代議員会、役員会について。
- ② 同調会ニュースの発行：通巻95号を『くにたち音信』より独立して発行した。
- ③ 第8回ホームカミングデイの開催：はじめて「くにたち賞」の表彰式と、受賞者によるトーク&コンサートを開催した。
- ④ ホームページの維持更新：コンサート情報など、逐次更新した。
- ⑤ 奨学金の給付：6名の優秀な学生に給付した。

- ⑥ 県人会助成金の給付：1 団体に助成した。
- ⑦ 賛助金（寄付）の募集：2017 年度に続き 2 年目の募集となった。770,000 円（年間目標額 1,000,000 円）の寄付をいただき、2 年間で約 2,000,000 円となった。
- ⑧ 卒業記念品の製作：2017 年度同様の卒業証書入れを製作した。
- ⑨ 第 2 回くにたち賞の受賞者選考：無事に実施することができた。
- ⑩ 各同調会主催演奏会への教員派遣：全 5 か所で開催された。
- ⑪ 7 号館への寄付：AV 機器設置にかかる費用（3,866,400 円）を大学へ寄付した。
- ⑫ 学校法人国立音楽大学評議員候補者選挙：会員の中から 8 名を候補者として推薦した。
- ⑬ その他：大学主催の『進学ガイダンス&体験レッスン』に、開催地域の各同調会に適時ご協力いただいた。

3. 2018 年度 会計報告 <花輪明夫 総務・財務部経理課課長・代議員>

前項の議事 2 の実施等に伴う会計について報告した。会計は配付資料のとおり。

4. 2018 年度 監査報告 <神宮寺淑子 会計監査人・山梨同調会代議員>

代議員会当日の午前中に、同調会会計監査人の足本憲治氏と神宮寺淑子氏が監査を行った。神宮寺氏より、監査の結果、収支状況が正しいことが報告された。

質問・意見等はなく、2018 年度の活動報告及び会計報告、監査報告について拍手で承認された。

5. 2019 年度 活動計画案 <藤沢章彦 副会長>

活動計画案の内容は配付資料および以下のとおり。

- ① 会議予定：代議員会と役員会について。
- ② 同調会ニュースの発行：通巻 96 号を発行した。
- ③ 第 9 回ホームカミングデイの開催：初めての試みとして同調会員の活動紹介展示スペース「同調会コミュニケーション・ラウンジ」を設ける。また、懇親ティーパーティーは初めて 7 号館食堂にて開催予定。
- ④ 同調会ホームページの更新・リニューアル：これまで無料サイトを利用して制作してきたが、より充実した使いやすい安全なサイトにするために、費用をかけてリニューアルしたい。
- ⑤ 奨学金の給付：第 3 回も 3 月頃を予定。
- ⑥ 県人会助成金の給付：第 3 回も 2 月頃を予定。
- ⑦ 賛助金（寄付）の募集：今年度も継続して募集を行い、一応の締切日（年度末）を設定する。
- ⑧ 卒業記念品の製作：2018 年度同様に製作する。
- ⑨ 第 3 回「くにたち賞」の実施：第 2 回との変更点が報告された。変更点は以下のとおり。
 - ・大賞は 2 名または 2 団体以内、奨励賞は 2 名または 2 団体以内とする。これに伴い、副賞

の総額が 600,000 円から 800,000 円となる。

(変更理由)

- ・会員数は圧倒的に卒業 10 年以上の方が多く、これまでの大賞 1 件から 2 件に増やし（奨励賞は 3 件から 2 件に減らし）、様々な分野で活動されている方を広く表彰していきたいため。

⑩ 各同調会主催演奏会への教員派遣：全 4 か所で開催。

議事 5 について、以下の質疑応答があった。

[代議員] 同調会コミュニケーション・ラウンジについて、同調会の紹介か、同調会員の個人的な活動紹介でよいのかを確認したい。

[答弁] 同調会員同士の交流や情報交換のための場としたい。

以上、2019 年度の活動計画案について拍手で承認された。

6. 2019 年度 予算書案 <花輪明夫 総務・財務部経理課課長・代議員>

前項の議事 5 を受け、2019 年度予算書案について説明した。予算案は配付資料のとおり。

議事 6 について、以下の質疑応答があった。

[代議員] 同調会ニュースの印刷費用について、これは何回発行予定なのか。2018 年度の決算額は約 250,000 円だったが 2019 年度は 800,000 円の予算となっている。また、その郵送料が計上されていないが、どのようになっているのか。

[答弁] 郵送料は学校法人国立音楽大学が発行する『くにたち音信』の発送の際に「同調会ニュース」等を同封してもらっているため、大学側が負担している（同調会の負担はない）。発行は年に 1 回だが、予算が 800,000 円となっていることについては、大学の方で立てている予算の時期との関係で 2019 年度はこのように計上したが、次年度は制作費に見合った額に減額する予定。

[代議員] 2018 年度決算で県人会への助成が 1 団体しかなかった理由を知りたい。

[答弁] 当該の 1 団体からしか申請がなかったため。

[代議員] 現在は県人会の面倒を見てくれる顧問の教員はいないのか。

[答弁] 県人会の活動に限られた都道府県だけであることもあり、すべての県人会に顧問がいないのが現状。申し込みは学内同調会（大学の音楽資料課内に事務担当がいる）へ。学生にわかるように周知していきたい。

以上、2019 年度予算書案について拍手で承認された。

7. 国立音楽大学同調会規約の改正について <藤沢章彦 副会長>

国立音楽大学同調会規約について、改正案が提案された。改正箇所は次のとおり。

第5条第2項(1)

旧) 東京高等音楽学院、国立音楽学校並びに国立音楽大学(学部、別科、大学院)を卒業または修了した者

新案) 東京高等音楽学院、国立音楽学校並びに国立音楽大学(学部、別科、大学院)を卒業または修了した者、もしくは大学院博士後期課程を満期退学した者

(改正理由) 博士後期課程を満期退学した者は、課程を修了した者と同等であると考えられるため。

議事7について、以下の意見、質疑応答があった。

[代議員] 上記の者以外にも、例えばディプロマコースを修了した者でも入会金をいただいて同調会員になっていただいてもよいのではないか。

[答弁] 大学生ではないがコース等を修了した方について、同調会員となっていただくのかどうかを今後検討し、次年度の代議員会で諮りたい。

以上、国立音楽大学同調会規約の改正について拍手で承認された。

8. 2020年度代議員会の開催日程と同調会規約について <藤沢章彦 副会長>

2020年8月1日(土)が東京オリンピックの開催期間内となるため、次年度に限り6月6日(土)の開催が提案された。

質問・意見等はなく、次年度の日程について拍手で承認された。

この日程変更に伴い、同調会規約には役員等の任期交代時期が8月1日と定められているが、次年度に限り任期の交代は代議員会開催日(6月6日)とすることが提案された。

質問・意見等はなく、本提案も拍手で承認された。

全ての議事が滞りなく終了し、閉会となった。

以上